



総合型地域スポーツクラブ 訪問日記【9月号】

クラブ名	NPO法人 Goppoええぞなクラブ	訪問日	9月11日	訪問者	若林 真優
訪問詳細	<p>今回は、スポーツ指導者等派遣事業を活用して行われているGoppoええぞなクラブの「ペタンク教室」の様子を拝見してきました。このペタンク教室は、最初は楽しむことを目的ではじめましたが、今では本格的に活動しています。指導者である橋本さんは、レクリエーションインストラクターの資格を保有しています。戦略の立て方や対処のしかたなど、細かく指導されていました。日頃の練習の成果が実り、ねんりんピックの予選を突破したそうです。目標があることで会員さんのモチベーションもあがるようで、お互い指摘し合いながら和気あいあいと練習に励んでいる姿が印象的でした。もっと多くの方にペタンクを体験していただき、面白さにふれてほしいと思います。Goppoええぞなクラブの活動が今後ますます発展し、地域の活性化に繋がることと思います。</p>				

クラブ名	二島コミュニティクラブ	訪問日	9月13日	訪問者	岡村 睦美
訪問詳細	<p>今回は、山口市で活動する二島コミュニティクラブの『骨盤体操』の視察に伺いました。骨盤体操は、幅広い年齢の方が参加され、月に1度開催されています。無理なく家でも行える内容であることから、なおさら丁寧に指導されていました。二島コミュニティクラブは、スポーツ・文化活動合わせて、約25の豊富な教室が用意されています。指導者は会員や住民からの自発的な意思による手上げ方式で、二島地域の方がボランティアで行っています。会員の方は、一つの教室だけでなく、複数の教室へ参加している方も多いようで、これは総合型クラブの理想の一つだと思います。また、教室へ参加した際に集めたスタンプの数によって景品が用意されるなど、教室へ参加したくなるような工夫がされています。二島コミュニティクラブは、これからも地域の方と共に盛り上げていきそうですね。</p>				

☆レッツ！オリ・パラ☆



2020年
東京オリンピックまで

1394日

※平成28年9月29日現在

カヌー競技は、1924年のパリオリンピックで公開競技として実施され、1936年のベルリンオリンピックから正式種目となりました。当初は男子種目のみでしたが、1948年のロンドンオリンピックからは女子種目も追加されました。カヌー競技には、「スプリント」と「スラローム」があり、艇も「カヤック」と「カナディアン」の2種類があります。そのなかで、距離、人数によって約16種目が実施されています。

「スプリント」は、流れのない河川等の直線コースでタイムを競い、「スラローム」は、流れのある河川コースで決められたゲートを通りながらタイムを競う種目です。

リオオリンピックでは、スラローム男子カナディアンシングルにおいて、羽根田選手がカヌー競技日本人初のメダル獲得を達成しました。山口県もカヌー競技で活躍している選手がいることをご存知ですか？山口県体育協会所属の足立和也選手は、今月行われたカヌー・スラロームワールドカップ最終戦（第5戦）男子カヤックで銅メダルを獲得し、同種目で日本人初のメダルを獲得しました。

リオオリンピックで注目度が増したカヌー競技。東京オリンピックでもメダル獲得が期待できる競技となりそうですね。